

講義コード	25468005
担当者	豊原法彦教授
研究題目	日本経済の計量分析

<研究内容>

学生証がICカード化され、オンラインで履修登録や成績発表される今日、パソコンやスマホなしに一日も過ごすことができません。調べものやチケットの購入もインターネット経由で事足りる時代です。

そのような状況について統計的に分析するため、今年度の研究演習入門においては、まずは経済学において最低限必要とされる情報リテラシー（ワープロ、表計算、e-mail）をベースにして、単なる情報の受信者ではなく発信者となるためのスキルの獲得を目指します。そして、みなさんがこれまでに学んできた経済学の知識をプラットフォームに、現実のデータを活用するために必須となる統計学を積み上げ、Rやmapleといったソフトウェアのスキルを獲得することによって、日本経済をマクロ的、ミクロ的に実証分析するという研究演習の課題を果たしたいと思っています。

<ゼミ運営>

2014年度は

- 1) 情報スキルのレベルアップ
- 2) 指定した計量経済学に関するテキストの報告とそれに関する討論

という2つの形態を考えています。そして、それを踏まえて研究演習I（3回生配当）では統計的データを利用しながらの実証分析を通じて日本経済のモデルの作成を目指します。また、ゼミ情報伝達のための掲示板やホームページ作成、維持管理なども視野に入れております。経済学の文献研究に限らず、統計学とコンピュータ操作に関しては学習時間と正の相関がありますので、積極的な受講態度が肝要です。

<選考について>

情報機器の利用スキルに加えて、ゼミ参加の熱意が重要だと考えています。志望される方は、Yドライブの¥teachers¥toyohara¥14 講義資料¥14 研究演習入門 にある「14 志望理由書.doc」をダウンロードし、必要事項を記入の上、toyohara@kwansei.ac.jp まで添付にてお送り下さい。

<b>受け入れ条件</b>		志望理由書を提出のこと
<b>担当者のプロフィール</b>	<b>専攻</b>	IT技術と計量経済学
	<b>現在の研究テーマ</b>	統計データ分析
	<b>所属学会</b>	日本経済学会